

1967 h エンケ周期彗星

堂平で8月8日朝の観測から富田が13等で検出したが、8月3日にソ連のクリミヤ天文台でチェルニクがすでに検出していることが後でわかった。その後太陽に近づくと共に明るくなったが観測には不便となり、9月3日8.7等が最後の観測である。

1967 i 第2シュワスマン・ワハマン周期彗星

堂平の91cmで8月9日朝、18等級として検出した。年末にかけて位置が都合よく、引つづき観測されている。

1967 j ウォルフ周期彗星

岡山の188cmで10月5日夜の数枚の掃索用乾板から富田が18等級でほとんど恒星状で検出した。ローマーはカタリナの150cm反射で9月30日、10月1日の写真から独立に検出している。年末まで引つづいて観測され等級は少し明るくなった。

1967 k ウィルターネン周期彗星

春から堂平で掃索していたが見つからなかったこの彗星は岡山の188cmで10月日夜の数枚の写真になった。光度は15等でBAAの予報に対して近日点通過は-2.6日となった。次第に明るくなり年末まで引つづき観測されている。この彗星は1972年に木星に0.28天文単位まで接近し、周期が6.7年から5.9年になるだろう。これは木星の周期のちょうど半分に等しく、1984年にまた木星に接近する。その後は周期5.5年となり、近日点距離は1.08天文単位となり、3月か9月に近日点を通過するようになるだろう。

1967 l アランド周期彗星

この彗星も数ヶ月にわたる掃索で検出されなかったが、10月5日夜岡山の188cmの写真から18等級で見出された。星雲状で核は見られなかった。11月には19等でその後の数回の写真には写っていないようである。

1967 m ポレリー周期彗星

10月5日夜、明方の東天低く188cmで撮影した写真板から富田が検出した。光度は16等で核があった。この彗星は位置の都合がよかったので、年末まで引つづき観測されている。周期が7.0年なので、毎回同じような条件で観測される。

1967 n 池谷・関彗星

年もおしつまった12月29日早朝、池谷・関氏氏がほとんど同時刻に8等級の新彗星を発見した。池谷氏は15cm反射倍率21倍で前回の発見から335時間、関氏は12cm20倍双筒望遠鏡で121時間の掃索後の成功である。1968年初めにかけて北半球の観測者から、都合のよい位置になっている。

なお1年間に14個の彗星の出現の通知があったのは1947, 48, 60年と過去に3回あったが、いずれも未確認のものが1個づつあり1967年が史上最高の出現となった。

1961 X パンホウテン新周期彗星

1960年9月から10月にかけて、パロマー山の48吋シュミットによりゲレルスが撮影した写真板からオランダのライデン天文台のパンホウテン夫妻が、新しい彗星像を見つけ出した。ハーゲットの計算によると、周期約16年で1961年4月29日に近日点を通過した新周期彗星であることがわかった。

1963 IX アンダーソン彗星

ミネソタ大学のアンダーソンは1663年にパロマーの48吋シュミットでライテンが撮影した写真板から16等の彗星像を見出した。写真は11月22日から25日までの4夜の観測があるが、期間が短く、よい軌道は求まっていない。その他1964年4月ロシノが12等の星雲状の天体を発見したとの報告があったが、確認されなかったものがある。その他この期間中に前年から引つづいて観測された彗星は次の通りである。

彗星名	最終観測	等級
1962 e アシムブルク・ジャクソン周期彗星	1965年2月25日	20.0等
1962 f ホイップル周期彗星	1964 4 12	19
1963 c ジョンソン周期彗星	1964 1 9	19.3
1963 d カーンズブー周期彗星	1965 4 24	20
1963 f ダレスト周期彗星	1964 2 4	18
1963 h エンケ周期彗星	1964 9 7	19.0
1963 i コップ周期彗星	1965 1 31	19
1963 VIII ハマーソン彗星	1965 11 1	20

その他ほとんど円軌道をもった第1シュワスマン・ワハマン周期彗星については、例によって毎年観測され、それぞれ数回の増光が報告されている。

その他予報が出ている掃索され検出されなかった周期彗星は次の通りである。

オテルマ、ピーラ、シャイン・シャルダハ、第2ニウジミン、第2デトア、第2ブルックス、第1テンペル、ハリントン、プロルセン、第2スイフト、タットル・ジャコビニ・クレサック、ホープス、ショーマス、

以上のうち第1テンペルは1967年6月8日ローマーが17~8等の写真を1枚だけ写しているが確認されていない。

学会だより

◇東京天文台公開 恒例の東京天文台公開(本会后援)は来る11月2日(土)午後2時から8時まで行なわれることになりました。65cm赤道儀、写真天頂筒、子午環、単色太陽写真儀、電波望遠鏡等が公開されるほか、資料展示、映画などが行なわれる予定です。なお雨天の際は中止されます。